

2016年12月12日
株式会社サンケイリビング新聞社

シティリビングが「モノづくり好きOL」の女子会を開催
仕事以外の承認欲求を満たす OL のハンドメイド熱
SNS での評価に喜び、販売・講師資格の取得も

シティリビングが「モノづくり好き OL」の女子会を開催

「アクセサリやバッグ作りに使えそうな物をつい買っちゃう」

サンケイリビング新聞社(代表取締役:和田直樹)が発行する、オフィスで働く女性のための情報紙「シティリビング」(全国8エリア63万部 <http://city.living.jp/>)では、ハンドメイドブームの拡大を背景に、11月29日、「モノづくり好き OL」の女子会を都内で開催。OL23人がアクセサリや手芸品などの“作品”を持ち寄り、モノづくりの楽しさや苦労、参加しているイベントの情報などを交換しました。

モノづくりを始めたきっかけは「好みにぴったり合うモノが見つからないので、作ろうと思った」から。「ビーズなどの素材は、すぐに使わなくてもついセットで買っちゃう。日常のショッピング中も素材として使えそうと思うものに目が行く」と財布のひももゆるみがちに。

モノづくり好き OL のハンドメイド品

- ・アクセサリ (ピアスやネックレスなど)
- ・クラッチバッグ、リボンバッグ、ポーチ
- ・手毬 ・キャンドル ・つまみ細工の和小物
- ・アイシングクッキー ・iPhone ケースほか



「モノづくり好き OL」女子会で作品を手に笑顔のシティリビング読者

深夜まで作業「SNS の“いいね！”がうれしい」

販売・講師資格の取得者も

平日は仕事に忙しい社会人。作業は土日がメインですが、「平日定時に帰り、深夜まで没頭」という人も。「作品を人にあげて喜ばれたり、SNS にアップロードし、“いいね！”がたくさんついた時がうれしい」と仕事以外の場での承認欲求を満たせるのも魅力のよう。

販売や講師をするためにキャンドルマイスターやリボンバッグ講師の資格を取得したという30代の女性たちは「いずれ家でサロンを開きたい」「ネットで販売を始めたい」と、OLである現職の先の展開も想定していました。



お互いの作品を見せ合いながら交流。素材やイベントなどについての情報交換も活発

シティリビングWebはこちら⇒ <http://city.living.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社サンケイリビング新聞社 シティ編集部 担当:渡部彩香 watbayak@sankeiliving.co.jp
東京都千代田区紀尾井町 3-23 TEL:03-6703-4420

リビング新聞グループ

コーポレートコミュニケーション室

TEL:03-5216-9222/FAX:03-5216-9248 mailto:cc@sankeiliving.co.jp